

ハンドボール NO 61

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	j
----------	---

年月日	2022 年 10 月 7 日 (金)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A	埼玉県						京都府						B	
都道府県	栃木県		市町村		会場		同種		準々決勝					
	下野市		下野市石橋体育センター											
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m加- コラサ	A	B
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
	1/1	1	2 前	3	1	2 後	3	2/2	0448					
	1121	1831	2136											

No.	埼玉県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	京都府	G	W	2'	2'	D	DR
1	小澤 菜子							1	川崎 麻央						
2	大塚 琴音			1				2	田中 志織	4					
3	櫻井 あさ	3		1	1			3	烏藤 梨花						
4	大森 陽菜	1						4	桐村 光優	7		1			
5	岸 楓	1						5	中尾 藍	4		1			
6	岡田 弥子	2						6	小川 優花	11					
7	林田 向日葵	2		1				7	鎌倉 明日香						
8	井上 友来	5						8	大宮 万葵	5					
9	松原 奈々葉	2						9	西垣 晴菜	4					
10	小山 歩夢	10						10	有本 都恵	3	1				
11	若谷 梨里							11	岩木 ひなた						
12	田中 里奈							12	奈良 明音						
監督A	綿引 智							監督A	西村 純						
役員B	久野 葵							役員B	吉本 知紘						
役員C	五十嵐 七愛							役員C	田村 由佳						
役員D	土屋 怜菜							役員D	村田 遥香						

A	綿引 智	チーム役員A署名	西村 純	B
---	------	----------	------	---

特記事項

レフェリー	齊藤 祥夫	岡本 翔平	齊藤 祥夫	岡本 翔平
TD	笠原 梨加	野中 毅	笠原 梨加	野中 毅
MO	本田 眞吾		本田 眞吾	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール : NO 60

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	D-j	回戦	準々決勝
種別	少年女子	会場	下野市石橋体育センター		
Aチーム名			Bチーム名		
埼玉県			京都府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	9	前半	23	38	
	17	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

前半0:46、先制得点は埼玉⑩小山のロングシュート。対する京都は2:40、ペナルティシュートで初得点。更に京都⑥小川が速攻で2点目。その直後に埼玉⑧が2点目。一進一退の攻め合いが続くが、京都が連続得点でリードし、10:30には6対3で3点リード。更にはペナルティシュートで7点目を決める。ここで埼玉は、試合の流れを戻そうと、前半1回目のタイムアウト。互いの攻め合いが続く中、京都はディフェンスからの速攻で得点を積み重ね、18:31には15対5で京都が有利に試合を進める。ここで埼玉は後半2度目のタイムアウト。埼玉は③櫻井がポストプレーで6点目を取得。直後に京都④桐村がカットインシュートで16点目、次いで⑤が17点目。対する埼玉⑨松原が7点目を返す。互いの攻め合いが続くが、全体的には京都がDFからの速攻で着実に得点を積み重ね、試合を有利に展開した。29:59に埼玉が9点目を得点したが23対9で京都が試合をリードし、前半を終了した。

後半1:58、埼玉⑩小山がロングシュートで先制得点、次いで③櫻井がポストプレーで連続得点し、11点目を得る。反撃を試みる京都は、速攻からのシュートが思うように決まらず苦戦。4:48に、この流れを変えようと、京都は後半1回目のタイムアウト。互いの攻め合いが続くが埼玉は⑧井上、⑩小山がロングシュートで得点を重ね、徐々に得点差を縮める。埼玉は逆転を試みるが、京都がそれを許さず、38対26で京都が勝利した。埼玉は後半速攻が繋がらなかったために、波に乗りきることができなかった。一方京都は、速攻を得点につなげ、結果的に勝利につながった。

記載者氏名

塚田健夫・野澤裕

送信日時

10月7日(金)